

令和2年

教育福祉常任委員会
会 議 録

期日：令和2年10月9日（金）

場所：大曲庁舎3階 大会議室

大 仙 市 議 会

大仙市議会教育福祉常任委員会会議録

日 時

令和2年10月9日（金曜日）

午前10時22分～午前10時38分

会 場

大仙市役所 3階 大会議室

出席議員（6名）

8番 富岡喜芳	10番 藤田和久	12番 小笠原昌作
18番 佐藤芳雄	19番 高橋徳久	23番 高橋幸晴

欠席議員（0名）

番

番

説明のため出席した者

健康福祉部長兼福祉事務所長 加藤 実 健康増進センター所長 佐々木ますみ

議会事務局職員出席者

参事 齋藤孝文

第 1 議案第194号 令和2年度大仙市一般会計補正予算（第12号）

(開会 午前10時22分)

○委員長（高橋徳久） おはようございます。本日は、本会議休憩中のところお集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから、教育福祉常任委員会を開会いたします。当委員会に付託された事件につきましては、別紙日程表のとおり審査いたしますので、よろしく願いいたします。なお、正確な会議録作成のため、発言はマイクにスイッチを入れてからお願いいたします。

審査に入ります前に、加藤健康福祉部長よりご挨拶をお願いいたします。加藤部長。

○健康福祉部長（加藤実） 常任委員会審査に先立ちまして、一言ご挨拶を申し上げます。

昨日は、大仙市戦没者追悼式を開催したところですが、教育福祉常任委員会の皆様からは、お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございました。

新型コロナウイルスの感染防止対策を考慮しながら規模縮小の上での開催ではありましたが、ご理解をいただき心から御礼を申し上げる次第であります。

また、10月1日から本格的にスタートしました「健幸まちづくりプロジェクト」についてであります。開始と同時に申し込みが殺到しまして、先着2,000名様へ体温計を贈呈する参加インセンティブも、開始3日目で到達しております。昨日時点でありまして、既に3,000人を超えておりまして、現在、申し込みされた方々に対しまして、活動量計の発送に向けた準備作業に追われているところでございます。

まずは、事業の開始とともに多くの皆様に参加申込をいただき、好調な滑り出しでありますことをご報告させていただきます。

さて、本日ご審議をお願いしております健康福祉部所管の案件は、新型コロナウイルス対策としてインフルエンザ予防接種の助成事業にかかる、一般会計補正予算案についてであります。

この後、担当の所長よりご説明申し上げますが、先の議員説明会で事業概要をお伝えしておりますので、できるだけ簡潔にさせていただきたいと存じます。

よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。以上であります。

○委員長（高橋徳久） ありがとうございます。それでは審査に入ります。

議案第194号「令和2年度大仙市一般会計補正予算（第12号）」を議題といたします。当局の説明を求めます。佐々木健康増進センター所長。

○健康増進センター所長（佐々木ますみ） 議案第194号「令和2年度大仙市一般会計補正予算（第12号）」のうち、健康増進センター所管分の補正予算につきまして、ご説

明申し上げます。補正予算の方は、資料No.2の9ページになります。説明は、事業説明書で説明させていただきます。

資料No.2-1、4ページを御覧ください。

はじめに、4款1項4目18事業「インフルエンザ予防接種助成事業費（新型コロナウイルス対策）」、新規事業でございます。

補正額は、2億82万7千円で財源内訳としましては、全額「新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金」でございます。事業概要につきましては、議員説明会でご説明させていただいておりますので、私の方からは事業内容等をご説明させていただきます。

「1. Plan」を御覧ください。この事業は、季節性インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が危惧されている中で、住民の感染予防と医療機関の負担軽減を図る特例的な措置として、インフルエンザ予防接種の助成対象者を全市民に拡大するとともに、経済的な理由で接種機会を逸することがないように助成額を拡充するものです。

「4. Act」を御覧下さい。接種期間につきましては、令和2年10月1日から令和3年2月28日となります。国の方から10月1日が予防接種開始時期とされておりますので、本日に間に合わないことから事前に議員説明会でご了承をいただいたところです。

助成内容につきましては、希望する方が受ける任意扱いの満6カ月から12歳までの方の分につきましては、助成額を2,000円とし2回分助成いたします。13歳から64歳までの方につきましても、2,000円の助成を実施いたします。65歳以上の方におきましては、受けるべきとされている定期の予防接種の扱いであります。65歳から75歳までの方の助成額を2,000円とします。また、コロナ禍で実施できませんでした敬老会の対象者である76歳以上の方の接種費用は全額無料とし、感染するとともに重症化しやすい高齢者の感染予防を図っていきます。

助成方法としましては、接種者の手続き負担がないように大曲仙北医師会の医療機関の窓口で、助成額を差し引いた額を支払う方法といたします。76歳以上の方で大曲仙北医師会以外の医療機関で接種をする場合は、医療機関で2,000円を差し引いた額で一旦お支払をいただき、お支払いいただいた残りの金額を後日償還払いすることとしております。

拡充内容につきましては、記載の通りです。このことにより今年度大仙市では、全

市民を対象に助成する体制が図られたこととなります。

主な事業経費につきましては、予防接種委託料、予防接種予診票・受診券等の郵便料等で、総額2億82万7千円の補正となります。

次に、前のページ3ページを御覧ください。

4款1項4目12事業「予防接種経費」の補正予算を説明させていただきます。補正前額は1億3,661万2千円で、補正額は2,611万円の減額です。補正後の額は1億1,050万2千円でございます。

「4. Act」を御覧ください。ただ今ご説明させていただいたインフルエンザ予防接種助成事業費を新規事業として10月臨時補正予算に計上することに伴い、今年度予防接種経費として当初予算に計上しておりました、インフルエンザ予防接種の助成額1,000円分の委託料が、新規事業と重複することから減額するものであります。

各年齢の助成額合計2,611万円の減額補正となります。

以上、健康増進センター所管分の補正予算について、ご説明させていただきました。よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（高橋徳久） ありがとうございます。ただ今説明が終了いたしました。これより質疑を行います。質疑のある方は、お願いいたします。はい、藤田委員どうぞ。

○委員（藤田和久） 直接この議案に関係ないんですけども、インフルエンザの予防接種料というのは本来いくらなのか。それで2千円の助成なってますけども、それを教えてもらいたい。それからもう一つは、医療機関全て同じ料金になってますか。それは質問、あれだがな。この二つお願いします。

○委員長（高橋徳久） 佐々木所長。

○健康増進センター所長（佐々木ますみ） ただ今の、委員からの質問についてお答えいたします。この予防接種に関しましては、予防接種費というのが決まっているものではないです。ですので医療機関によって、金額を設定できることになっておりますので、様々な、医療機関によって接種費用の額が異なっているという状況になります。これは全国的にそういうことになっております。

○委員長（高橋徳久） はい、よろしいですか。

○委員（藤田和久） はい。

○委員長（高橋徳久） 富岡委員。

- 委員（富岡喜芳） 私も同じごど聞きたかったんですけども、ちなみ大体どれくらいなもんですか。上下あるにしても大体いくら。私1回もやったごどないもんですから。1回やればどれくらいの額になるんですか。
- 委員長（高橋徳久） はい、佐々木所長。
- 健康増進センター所長（佐々木ますみ） 大体3,500円から4,000円ちょっとくらいのところの幅がありますが、予算計上では3,700円のところを取りまして、予算計上させていただいております。
- 委員（富岡喜芳） 分かりました。ありがとうございます。
- 委員長（高橋徳久） 他にございませんでしょうか。高橋委員。
- 委員（高橋幸晴） この今回の事業は、コロナがこの後高齢者に対して、非常にコロナに弱いということでこういう事業が出てきた訳なんですけど、そういった76歳以上とか、そういった人方に今どうしても打ってもらいたいということだと思います。これを進めるにあたって、そういう人方を何とかかんとが病院まで行って、注射してもらいたいということになるろうかと思いますが、その方策については何か考えておられるでしょうか。
- 委員長（高橋徳久） はい、佐々木所長。
- 健康増進センター所長（佐々木ますみ） この度76歳以上の方に全額助成をするにあたり、対象者の方々にははがきでご案内をしております。ですので、広報とかホームページ等でも周知はしておりますが、直接ご本人に通知、はがきが行っておりますので、全額助成になる旨はご理解いただいているものと思います。あと医療機関の方でも基礎疾患がある方々がそれぞれ主治医のもとで治療されていると思いますが、そちらの方からも勧められると思われれます。
- 委員長（高橋徳久） はい、高橋委員。
- 委員（高橋幸晴） ええ、そこまでは良いと思います。ただその本人の、76歳以上の方々がこの予防接種を受けなければならない状況だよと、というようなごどを周知していただいて、そして病院まで向かってもらうという、そういう方策が取れていれば良いんですけども。そごらへんのどごろ、聞いてらどごです。
- 委員長（高橋徳久） はい、いかがでしょうか。今の質問です。佐々木所長。
- 健康増進センター所長（佐々木ますみ） こちらの予防接種につきましては、受けるべき予防接種ということで、65歳以上の方々については定期の予防接種、受けなければならない予防接種という扱いになっております。今お話しがありましたように、積極的

に受けていただきたいと思いますので、この後もホームページや、それから広報等で受けていただくように周知してまいりたいと思います。

○委員長（高橋徳久） はい、よろしいでしょうか。

○委員（高橋幸晴） はい。

○委員長（高橋徳久） はい、富岡委員。

○委員（富岡喜芳） ちなみに私受けだごどないんですけども、大仙市の人口の何割ぐらいの方が今まで大体受けでいるもんですか。

○委員長（高橋徳久） はい、佐々木所長。

○健康増進センター所長（佐々木ますみ） 令和元年度のインフルエンザの予防接種の接種状況になりますが、65歳以上の方は、対象者は3万895人おりまして、接種した方は1万6,690人で摂取率は55.5%でした。

○委員（富岡喜芳） いいです。

○委員長（高橋徳久） よろしいでしょうか。他にございませんでしょうか。はい、藤田委員。

○委員（藤田和久） 先ほどの高橋幸晴議員の質問とちょっと関連するんですけども、やっぱりせつかくこういう国の事業でね、無料で高齢者の方に予防接種をしていただきたいと思いますということです。今年度10月、11月を追って、やった人どれ位いるかっていうのは分かるものでしょうか。それもし、やっていない人にね、また個別に電話とかで取るとか、そういう計画はないのかちょっとお聞きしたいと思います。

○委員長（高橋徳久） 佐々木所長。

○健康増進センター所長（佐々木ますみ） 医療機関には予診票が配布されておりまして、そちらの方で接種された方々と、あと請求書も来ますので、どなたが接種されたかというのは把握できる状態です。その接種をまだ受けておらない方々への働きかけを電話等ということになりますと、何万人ということになりますので、ちょっと難しいかと思いますが、医療機関のご協力を得ながら、また、広報等の周知の方で何とか受けられるように進めていきたいと思っています。

○委員長（高橋徳久） はい、よろしいでしょうか。他にございませんか。

（ 「なし」と呼ぶ者あり ）

○委員長（高橋徳久） ないようですので、質疑を終結いたします。これより討論を行います。討論ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(高橋徳久) 討論なしと認めます。これより採決いたします。

本件は、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(高橋徳久) ご異議なしと認め、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、当委員会に審査付託となりました議案の審査は終了いたしました。なお、委員会の「審査報告書」及び「委員長報告」の案文につきましては、委員長にご一任願いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(高橋徳久) ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

これをもちまして、教育福祉常任委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

(閉 会 午前10時38分)

委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

令和 2 年 月 日

教育福祉常任委員会委員長 高 橋 徳 久